

近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・かわら版

(通称:こだま通信)

箕面森林環境保全ふれあいセンターが平成16年4月1日から活動を開始しています。センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

森林ボランティアリーダー養成スクールの開講

森林ボランティアによる自主的な森林づくり活動が活発となっていますが、その活動のリーダーが不足していることを踏まえ、森林ボランティアリーダーの養成を目的としたスクールを7月から開講しています。

スクールには、大阪府、京都府、奈良県、兵庫県からリーダーを志す35名の参加があり、森林施業(下刈、間伐、歩道作設)、野外活動における応急処置、森林環境教育の進め方、植物観察など野外での実習(3回)を含む5回の講義に、真剣に取り組んでいます。10月には未来の森林ボランティアリーダーの卵たちが、巣立っていきます。



総合学習での森林環境教育

「総合的な学習の時間」における森林環境教育の導入を促進するため、9月13日、湖西中学校(滋賀県新旭町)2年生を対象に森林の重要性や森林環境の多様性などに関した森林教室を実施しました。

生徒たちは、森林教室の内容などからグループ毎に「森林と環境」についてテーマを決定し、今後は自分たちで資料収集等を行い、取りまとめる必要があるため、センター職員が「森林と環境」についてアドバイスを行いました。

琵琶湖岸の伊崎国有林(滋賀県近江八幡市)では、カワウの営巣による森林被害が生じています。このため、10月5日、第1回ワーキンググループの会合(学識経験者と国有林関係者によるもの)を開催し、今後の取組方針や被害地の調査手法などについて検討を行っていきます。

カワウ ワーキンググループの会合



箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049 / FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>
〒603-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

